

海外留学の成果報告

摂南大学
外国語学部4年
水谷 圭宏

留学先 **中国（青島）**
留学期間 平成29年10月15日
～平成29年11月12日



中国工場の様子

支援企業

株式会社 アタゴ

担当者

財務・業務部門 業務グループ

担当者から一言

中国青島に3社、そして平成29年末にベトナム（ホーチミン）に新会社を設立するなど、グローバル展開を拡大していくなかで、国際感覚を身に付けた人材の必要性を感じていました。そのため、今回この事業で学生を受入れ、人材育成の支援をさせてもらいましたが、水谷君には期待以上の国際感覚を身に付けて頂いたと思っています。



語学学校の友人たちと

①留学をしようと思った動機

私が留学をしようと思ったきっかけは、地方創生をしたいと思ったことです。福井県は眼鏡のフレームで有名であったり、合繊企業が多い地域です。それらをもっと売り出し、福井県を盛り上げるためにはどうしたらよいのかということ海外で学びたいと思い、トビタテに応募しました。

②留学の内容および成果

留学内容としては、福井県の合繊企業の中国支社にインターンシップをしつつ、中国語を学んできました。インターンシップでは、繊維製品を作るための部署をすべて見学、研修して、事前に行った日本での事前研修で分かったことと中国で行われていることの違いを知りました。例えば、中国支社では製品の部品は各部品のスペシャリストによって作られるのですが、スペシャリストを作ることによって製品のできる速さが早くなったり高品質なものができると感じました。他にも製品の品質を調査する方法など多くのことを学ぶことができたため、それらを福井に持ち帰り、福井を盛り上げるのに役立てようと思います。

午前中は青島郊外の工場にインターンシップをし、午後は青島市内の語学学校に行っていました。語学学校では2時から5時まで中国語をマンツーマンで学び、挨拶ができる程度だった中国語のレベルが自分の意志を簡単に伝えられるほどになりました。日本に戻り、現在はHSK3級の取得を目指しています。

留学で得た成果として、インターン先での経験、中国語の習得だけでなく、自分の固定観念を変えることができたことが挙げられます。現地での滞在は、言葉や食事など様々なことが日本とは異なりますが、自分が持っている国のイメージを変えてくれました。中国はコピー大国でメイドインチャイナは品質が悪いというようなイメージを私は持っていたのですが、製品を作る過程において様々な製品チェックを行い、状態の悪い製品を出さないようにしたり、工場内をきれいに保つために掃除をこまめに行うなど、中国の悪いイメージを払拭してくれたように思います。



青島の街並み